

1 (必須問題: アルゴリズムとプログラミング)

(情報工学 1/21)

配点: (1) 15 点, (2) 24 点, (3) 24 点, (4-1) 13 点, (4-2) 12 点, (4-3) 12 点

図 1 の ANSI-C 準拠である C 言語のプログラムは、53 行目の整数型 (int 型) 配列 (array) dat で与えられる入力に対して、昇順 (ascending order) に整列 (sort) するプログラムである。以下の各間に答えよ。

- (1) このプログラムで実現されている整列方式 (sorting algorithm) の名称を答えよ。
- (2) このプログラムの 4 行目の display 関数を、1 回目に呼び出すときと、3 回目に呼び出すときの、配列 dat の内容を記述せよ。
- (3) このプログラムは、入力を指定する 53 行目の配列 dat によって動作が変化する。49 行目の sort 関数の呼び出しにおいて、常に k と b が等しくなり、かつ 25 行目の処理が行われないように、配列 dat を並べ替えよ。
- (4) 49 行目の sort 関数の呼び出しにおいて、常に k と b が等しくなる配列 dat が与えられたときについて、以下の各小間に答えよ。
 - (4-1) 配列 dat の要素数を n としたとき、プログラム実行の全体における sort 関数が呼び出される回数を求めよ。
 - (4-2) このような状況における、このプログラムが示す整列方式の時間計算量 (time complexity) を、整列要素数 n を用いてオーダー表記 (order notation) で答えよ。
 - (4-3) これは、このプログラムが示す整列方式にとってどのような状況であるか、時間計算量の観点から簡潔に述べよ。

```

1 #include <stdio.h>
2 #define MAX 8
3
4 void display(int *arr) {
5     int i;
6
7     for(i=0; i<MAX; i++) printf("%d ", arr[i]);
8     printf("\n");
9 }
10
11 int arrange(int a, int b, int *arr) {
12     int left, right, bd, temp;
13
14     left=a; right=b; bd=arr[(a+b)/2];
15
16     while(1) {
17         while(arr[left]<bd) {
18             left++; if(left>b) break;
19         }
20         while(arr[right]>=bd) {
21             right--; if(right<a) break;
22         }
23
24         if(right<a) {
25             arr[(a+b)/2]=arr[a]; arr[a]=bd;
26             return a+1;
27         } else if(left<=right) {
28             temp=arr[left];
29             arr[left]=arr[right]; arr[right]=temp;
30
31             left++; right--;
32         } else {
33             break;
34         }
35     }
36
37     return(left);
38 }
39
40 void sort(int a, int b, int *arr) {
41     int k;
42
43     if(b<=a) return;
44
45     k=arrange(a, b, arr);
46     display(arr);
47
48     sort(a, k-1, arr);
49     sort(k, b, arr);
50 }
51
52 int main(void) {
53     int dat[]={30, 50, 70, 40, 20, 80, 60, 10};
54
55     sort(0, MAX-1, dat);
56     display(dat);
57     return 0;
58 }

```

図1 プログラム

④ クイックソート (Quick Sort)

(2) 1回目: $\{30, 10, 20, 40, 70, 80, 60, 50\}$

3回目: $\{10, 20, 30, 40, 70, 80, 60, 50\}$

(3) $\{20, 40, 60, 80, 10, 30, 50, 70\}$

(4) (4-1) このとき、sort関数が呼び出される回数は $n + (n-1) = 2n-1$ 回。

(4-2) このような状況における、時間計算量は $O(n^2)$

(4-3) これは、クイックソート (Quick Sort) にとって最悪の状況である。

ピボット (pivot) は常に区間の最大値となる、分割は極端に不均衡である。